

2017年12月6日

## 当院で薬剤溶出性ステント留置後ステント血栓症により治療を受けられた患者さんへ

当院で行っている臨床研究についてのお知らせとお願いです

課題名： 1・2世代薬剤溶出性ステント留置後のステント血栓症に関するレトロスペクティブ多施設レジストリー（REAL-ST）

### ◆研究の目的と概要◆

当院では、ステント血栓症を発症した患者さんの危険因子や臨床予後を検討する目的で、薬剤溶出性ステント留置後にステント血栓症を発症した患者さんを対象に、臨床研究を実施しています。この研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。なお、この研究は、小倉記念病院蔵満 昭一医師が主体となって実施しており、全国46施設が参加しています。

### ◆対象となる患者さん◆

2004年4月から、2015年12月までの間に、ステント血栓症であると診断された方および、当院で薬剤溶出性ステントを留置し血栓症の発症がない方（ステント血栓症発症した方1症例に対して4症例が研究責任者の判断で選ばれます）。

### ◆研究に使用されるカルテ情報◆

年齢、性別、身長・体重など、これまでの治療経過  
治療後経過（生存されているか、再血行再建、出血などの事象が起こったか）

- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
- \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。
- \* 研究計画書及び研究の方法に関する資料は入手又は閲覧でき、小倉記念病院ホームページ（<http://www.kokurakinen.or.jp/>）より入手、閲覧可能です。

### 【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院  
循環器内科 研究責任者 大家 理伸

TEL：086-422-0210（代表）、FAX：086-421-3424（代表）

E-mail：kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明